

2026 年度 JRA 畜産振興事業
次世代の養蜂人材育成のための研修事業
募集要項
(宿泊研修参加 OB・OG 向け)

2026 年 5 月 21 日

公益社団法人国際農林業協働協会
(JAICAF)

目 次

1. 事業の目的.....	1
2. 事業実施団体.....	1
3. 助成.....	1
4. 事業の概要.....	1
5. 募 集.....	2
1) 対 象.....	2
2) 応募方法.....	2
3) 参加要件.....	3
4) 参加経費.....	3
5) 応募書類.....	3
【別紙1 研修プログラム】.....	4
【様式1:申請書】.....	7
【様式2:OG・OB 参加希望者自己推薦文】.....	8

養蜂はハチミツ等蜂製品の提供の他、花粉媒介を通じてわが国の食料供給に貢献する重要な産業です。近年、SDGs の観点などから注目を集める一方で、しかし、養蜂業の担い手不足や不十分な産業基盤といった課題があります。

公益社団法人国際農林業協働協会（JAICAF）は、2024 年度より JRA（日本中央競馬会）から助成を受け、養蜂産業の社会的役割、養蜂産業の課題や課題解決のアプローチを学ぶ高等学校向けの研修事業を実施しています。

2026 年度は、日本国内の養蜂経営者・研究機関への訪問を強化することで、養蜂の産業としての使命や役割および課題を学び、将来の養蜂産業を支える人材の育成を引き続き目指していきます。

なお、本事業では、養蜂産業の観点からセイヨウミツバチを扱います。

1. 事業の目的

学校教育の現場においても、課外活動などでミツバチの生態や養蜂を通じた自然や社会との関わりをテーマに、学習を継続している、あるいは実施しようとしている学校があります。本事業は、こうした学校を対象に、各校で行われている学習を補強しつつ、養蜂産業への視点を得るための学習プログラムを学校側に提供し、広く養蜂産業振興に貢献する人材の育成に繋げることを目的とします。

2. 事業実施団体

公益社団法人国際農林業協働協会（以下、JAICAF とする）が事業を実施します。

3. 助成

本事業は、JRA（日本中央競馬会）が行う 2026 年度日本中央競馬会畜産振興事業の助成を受けて実施されます。

4. 事業の概要

本事業では、ミツバチや養蜂の学習プログラム（以下、「養蜂学習」という）を取り入れている高等学校を対象に、養蜂産業の意義や実際を学ぶ研修を実施します。参加者は、各校の養蜂学習に参加する高校生および養蜂学習を指導する教員（指導教員）（以下、研修参加者とする）です。

過去事業では国内研修と海外研修を組み合わせたプログラムとしましたが、2026 年度は国内研修のみ実施します。特に、日本を含め世界的に花粉交配用ミツバチの不足が深刻となっている状況に鑑み、養蜂産業に課された社会的役割である花粉交配群の提供を重視した研修内容とします。

研修は、①専門家による座学、②養蜂経営者や研究機関を訪問する現場研修、③参加校間での学習共有と養蜂産業に関するグループワーク等を行う定期ミーティングから構成します。

2026年度は、このうち第1回定期ミーティング（宿泊研修：8月5日～8月8日）において、過去事業の研修参加者のOB・OGに、高校生のメンターとして参加いただくこととし、参加者を募集します（参加旅費を本事業で負担）。

OB・OGの皆さんには、研修において高校生の積極性を引き出すとともに、養蜂産業に関わる人材育成の観点から、進路選択における事例あるいは情報源となることを期待します。

なお、OB・OGは、6月に実施する座学には、選考結果にかかわらず参加可とします。現場研修も、受入人数に空きがあった場合、自己負担による参加を可能とします。

研修プログラムの詳細は「別紙1」をご参照ください。

5. 募集

1) 対象

2024年度および2025年度に行われた本事業の研修に、高校生として参加し、高等学校をすでに卒業している者(募集人数:最大6名)

2) 応募方法

参加希望者は、下記の提出先まで、「5. 募集」の「4) 応募書類」に示す必要書類を提出してください。

提出期限：

2026年6月19日（金）23:59 まで

提出方法：メールによる電子提出

※件名【2026JRA 養蜂研修への応募（OB・OG）】としてください。

※PDF 1 ファイルにまとめ、必ずパスワードをかけること

※パスワードは別メールで提出先に連絡のこと

提出先・問合せ先：JRA 養蜂研修事業事務局

公益社団法人国際農林業協働協会 業務グループ

西山 deske@jaicaf.or.jp / 森 m.mori@jaicaf.or.jp

※2名両方にお送りください

※担当者が出張中のため、ご質問等もメールにてお願いします。

受領後、2営業日以内に受領の連絡を行います。受領メールが届かない場合は下記の代表電話までお電話ください。

代表 TEL 03-5772-7880（土日祝日を除く 10:00-17:00）

3) 参加要件

研修参加者は、下記を満たすこととします。

- ① 2024年度あるいは2025年度に行われた本事業の研修に参加したこと
- ② 事務局の依頼に積極的に対応すること
- ③ 本研修事業の広報に協力すること
- ④ 氏名・顔写真・発表資料等の研修での活用、JAICAF ホームページや刊行物等での公表、研修参加者による引用を承諾すること。また、メディア取材についても承諾すること
- ⑤ 参加高校生および指導教員、ならびに、研修先・講師・損害保険会社など、事務局が研修に必要と判断する組織・養蜂経営者・専門家等への、所属、氏名などの情報の提供に同意すること

4) 参加経費

事務局が負担する経費は表1のとおりです。

表1 事務局が負担する経費とその範囲

費目	範囲、詳細、備考
交通費及び宿泊費	第1回定期ミーティング（宿泊研修）への参加に係る交通費および宿泊費 ※上記以外の経費は各自で負担 ※社会通念上やむを得ない事情を除き、自己都合による不参加に伴う宿泊費・食事のキャンセル料は本人負担といたします。 ※前泊・後泊は、事務局が必要と判断した場合のみ：事前に連絡します。

5) 応募書類

次の書類を様式に従って作成し、提出してください。

- ① 研修参加申請書および画像・映像の使用及びメディア取材承諾書（様式2、p.7）
- ② 自己推薦文（様式2、p.8）

【別紙1 研修プログラム】

第1回定期ミーティングプログラム

研修会場：ホテルヘリテージ（埼玉県熊谷市小江川228）

日時	プログラム	宿泊
8月5日（水）	午後 学校の活動共有 専門家による情報共有	ホテルヘリテージ
8月6日（木）	午前 内検見学 午後 養蜂家訪問	ホテルヘリテージ
8月7日（金）	午前 養蜂企業訪問 午後 全体ディスカッション	ホテルヘリテージ
8月8日（土）	午前 テーマごとに意見交換（分科会） 13:00頃 解散	


※プログラムの詳細は後日参加者にご案内しますが、初日は13時頃の集合を予定しています。

※宿泊は全日、相部屋（2名～6名）です。

※必要と認めた場合には前泊・後泊の宿泊費も事務局で負担します。

<参考>

事業スケジュール

	国内研修		
	座学	現場研修	定期ミーティング(MTG)
5月			5月21日(木): OB・OG 参加者募集開始
6月			6月19日(金): 参加申込〆切
7月	【オンライン】 土曜日の3日間・午後 (7/4・7/11・7/18)		
8月		【第1回定期 MTG】:8/5(水)～8/8(土) 3泊4日 <ul style="list-style-type: none"> ● 埼玉県養蜂企業訪問・蜂場訪問 ● 飼育管理指導(人数によっては蜂場での内検指導あり) ● 分科会(課題別グループディスカッション) 	
9月			
10月			
11月			第2回定期 MTG
12月			
1月			
2月			第3回定期 MTG(春の飼育管理)
3月	成果発表会／事業終了・報告書発行		

座学プログラム（予定）

日時	テーマ	場所
7月4日(土) 14:00～17:00	<p>第1回講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業解題(JAICAF) ● 蜜源とミツバチの生態 講師:玉川大学名誉教授/ (一社)養蜂産業振興会代表理事 佐々木正己氏 ● 送粉昆虫としてのミツバチの役割 講師:農研機構 農業環境研究部門 農業生態系管理研究領域 生物多様性保全・利用グループ 前田太郎氏 ● 日本国内の花粉交配用ミツバチの不足について 講師:農林水産省畜産局畜産振興課技術第2班 課長補佐 信戸一利氏 	オンライン
7月11日(土) 14:00～16:00	<p>第2回講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の養蜂関連法制度 講師:Beehive Japan 代表取締役 渡辺宏氏 ● 日本の養蜂関連行政機関と養蜂組織 ● ハチミツの世界 講師:玉川大学名誉教授/ 全国はちみつ公正取引協議会 副会長 中村純氏 	オンライン
7月18日(土) 14:00～16:00	<p>第3回講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ミツバチの飼育技術とダニ被害 講師:(一社)養蜂産業振興会 理事/ 元玉川大学教授 干場英弘氏 ● 米国のダニ被害状況とその対応 講師:玉川大学名誉教授/ (一社)養蜂産業振興会代表理事 佐々木正己氏 	オンライン

【本事業問合せ先】

公益社団法人国際農林業協働協会 (JAICAF)

業務グループ 森 麻衣子 (m.mori@jaicaf.or.jp)

西山 亜希代 (deske@jaicaf.or.jp)

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 4F (北)

Tel: 03-5772-7880 / Fax: 03-5772-7680

【添付資料】

評価の視点

1. 研修目的の理解と熱意
2. 養蜂産業への関心
3. 他者との交流と積極性
4. 養蜂との関係

【様式 1:申請書】

公益社団法人国際農林業協働協会
会 長 松 原 英 治 殿

氏 名

印

2026 年度 JRA 畜産振興事業
次世代の養蜂人材育成のための研修事業
研修参加申請書
および画像・映像の使用及びメディア取材承諾書

応募要領に記載の参加要件（p.3）を順守して標記研修に参加することとし、添付の通り研修への参加を申請します。

なお、本研修に関して、自らが撮影した、あるいは事務局、研修参加生徒及び指導教員（以下、研修参加者という）によって撮影された研修参加者の画像・映像については、研修に資する場合及び本研修の成果を広報することを目的とする場合、事務局及び他校研修参加者による使用を承諾します。

また併せて、研修や成果発表会等イベントでのメディア取材についても、同様に承諾します。

記

OB・OG 参加希望者自己推薦文

以上

【様式 2:OG・OB 参加希望者自己推薦文】

氏名：	所属：	性別：
住所：	E-mail：	
自己推薦文		
<p>➤ 本事業は、養蜂の産業としての使命や役割および課題を学び、将来の養蜂産業を支える人材を育成することを目的としています。この観点から、①現在の活動（たとえば大学の専攻やその分野を選んだ理由、養蜂との関係など）、②宿泊研修において、高校生に何をどのように共有したいか（それはなぜか）を記載してください。</p>		